

【講演者プロフィール】



初田 哲男 理研 数理創造プログラム プログラムディレクター

1981年 京都大学理学部卒業。1986年 京都大学大学院 理学研究科 物理学第二専攻 修了(理学博士)。1988年 ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校 博士研究員を経て、2000年 東京大学大学院理学研究科 教授。2012年 理研 仁科加速器研究センター 主任研究員を経て現職。科学技術分野において文部科学大臣表彰(2014年)。東京大学名誉教授(2019年)。



大武 美保子 理研 革新知能統合研究センター 認知行動支援技術チーム チームリーダー

東京大学工学部卒業、東京大学大学院工学研究科博士課程修了、博士(工学)。東京大学准教授、千葉大学准教授等を経て、2017年4月より現職。専門は、人工知能、知能機械学。2006年、認知症をもつ祖母との会話をヒントに、「共想法」を考案。2007年、研究拠点「ほのぼの研究所」を設立、翌年、NPO法人化、自治体、福祉・介護・医療機関との協働事業を展開。2014年、科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞受賞。著書に、『介護に役立つ共想法』中央法規出版(2012)。



松岡 聡 理研 計算科学研究センター センター長

1993年 東京大学大学院 理学系研究科情報科学専攻 博士(理学)。2001年 東京工業大学 学術国際情報センター教授。2017年 産総研・東工大RWBC-OIL ラボ長。2018年より現職。東京工業大学 数理・計算科学系特任教授(兼職)。米国計算機学会ACM フェロー(2011年)、ACM Gordon Bell 賞(2011年)文部科学大臣表彰(2012年)。また、日本人としては初めてスーパーコンピュータ分野の最高峰賞であるIEEE Sidney Fernbach 賞(2014年)、計算機科学の国際的学会主催HPDC Achievement Award(2018年)を受賞。2020年6月および11月と二期連続の史上初世界1位四冠を達成したスーパーコンピュータ「富岳」の総責任者。



美濃 導彦 理研 理事

京都大学工学部情報工学科卒業。同大大学院博士課程修了。京都大学工学部助手、京都大学工学部附属高度情報開発実験施設助教授を経て、京都大学学術情報メディアセンター教授、平成18年4月より同センター長(平成22年3月まで)。平成20年10月より京都大学総長室副室長を兼任(平成22年9月まで)。平成22年10月より京都大学副理事(平成24年9月まで)、C.I.O、情報環境機構長に就任(平成28年9月まで)。平成30年3月に同学を退職、同4月より研究開発法人理化学研究所理事。現在に至る。画像処理、人工知能、知的コミュニケーション関係の研究に従事、工学博士、IEEE、ACM、情報処理学会、電子情報通信学会、画像電子学会、日本バーチャルリアリティ学会各会員。電子情報通信学会、日本バーチャルリアリティ学会フェロー。

【講演会(ウェビナー)申し込み方法】

「理研と未来を創る会」のホームページ「イベントのお申込み」からの申し込みをお願いします。

(郵送の招待状に同封の往復はがきからでもお申込みいただけます。)

講演会(ウェビナー)への参加方法等は2021年2月上旬に、お申込者様のメールアドレスにお送りします。

※恒例の各研究室のパネル展示説明は中止いたします。講演テーマ含め各研究室の研究テーマの詳細は同じく2021年2月に「研究 総覧」としてURLでお送りいたします。

理研と未来を創る会 事務局 : sskai1987@riken.jp